

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和4年度第5回相模原市コンプライアンス推進委員会(書面会議)		
事務局 (担当課)		コンプライアンス推進課 電話042-707-7040(直通)		
開催日		令和5年3月22日(水)～3月28日(火)		
出席者	委員	3人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	2人(コンプライアンス推進課長、同総括副主幹)		
公開の可否		<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	—
公開不可・一部不可の場合は、その理由		書面会議のため		
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「相模原市組織運営の改善に向けた取組方針」の進捗報告及び意見聴取について</li> <li>2 令和4年度コンプライアンスの推進に係る取組結果</li> <li>3 令和5年度コンプライアンスの推進に係る取組について</li> </ol>		

## 審 議 経 過

1 「相模原市組織運営の改善に向けた取組方針」の進捗報告及び意見聴取について

資料1「相模原市組織運営の改善に向けた取組方針の進捗状況報告」及び参考資料について意見を頂いた。

(松井委員) 「1 コンプライアンス上の意識改革」と「7 ハラスメント対策」では、総括の欄内で、職員の各種意識の向上を成果（アウトカム）としている。取組実績だけではなく（結果、アウトプット）個々の職員の認識の変化（成果、アウトカム）を示しているため、意識向上を示すデータを明示しておくとのよいのではないだろうか。

(事務局) 意識向上を示すデータの記載については、職員意識調査結果やハラスメント研修のアンケート結果等から職員の意識向上に関するデータを示すよう検討する。

(松井委員) 「4 人材の育成」では、総括の欄内で、専任職の設置、職員研修の実施により専門性がいかに向上されたかを明示しておく方がよいのではないか。特に、設置・研修前後での推移をより具体的に把握し、今後は示すとよいのではないか。

(事務局) 頂いた意見について所管課に確認の上、専門性の向上について示すよう検討する。

(白澤委員) 令和4年度の取組結果は全体的に過去のをさらに具体化し充実したものとなっておりよいと思う。また、それぞれの問題点に対する対応方針について十分に検討がなされているものと思う。

(亀重委員) 全体を見て、特に人事・給与課において取り組みが具体的であり成果が出ているように見えた。

(亀重委員) 契約課においては令和3年度と4年度のほとんど変わらなかったということか。

(事務局) 契約事務等に係るチェック体制の構築や競争入札参加者選定委員会及び入札監視委員会の審議対象範囲の拡大について、令和2年度に実施し、令和3年度、令和4年度も継続して取り組んだところである。

2 令和4年度コンプライアンスの推進にかかる取組結果について

資料2「令和4年度事務処理ミス・監査指摘事項等の状況」について意見を頂いた。

(松井委員) 事務処理ミス件数の年間推移をみると、徐々に減少している点は評価ができる。なお、年度末の第4四半期では総じてミスが発生しやすいため、事務処理ミスに対する注意を喚起するとともに、処理が集中しないような配慮が望まれる。

(事務局) 年間のうち特に第4四半期は事務処理ミスが発生しやすい傾向があるため、引き続き注意喚起に努めるとともに、事務が特定の時期や一部の職員に集中しないような職場環境づくりに取り組んでいきたいと考えている。

(松井委員) パワーハラスメントは前年度から微減にとどまっている。主因を明らかにしたうえで、対処を進めることが望ましいと思う。

(事務局) 今年度の相談件数は昨年度とほぼ同件数となった。相談については、職員が1人で抱え込まず、外部相談窓口やコンプライアンス推進課への相談につながっているものと考えているが、今後はハラスメントの未然防止に向けた取組をより一層推進し、ハラスメント発生件数の減少に向けて取り組んでいきたいと考えている。

(白澤委員) 事務処理ミスについては減少傾向にありよいと思う。

(事務局) 引き続き、内部統制を始めとする取組や円滑なコミュニケーションが取れる風通しのよい職場づくりに取り組むことで、事務処理ミス防止につなげていきたいと考えている。

(白澤委員) ハラスメントの相談件数については大きな変動がないことから、相談窓口などの情報提供が行き届いていることを示していると思う。

(事務局) 引き続き外部相談窓口等の積極的な周知に努め、職員が相談しやすい環境づくりに取り組んでいく。

(亀重委員) 事務処理ミスの件数が減ったのは素晴らしいが、事務処理ミスの概要の1番の市立小学校における保健調査票の誤廃棄については、個人情報が小学校でどのように管理されているか不安に感じた。

(事務局) 学校現場においても市と同様に個人情報の適正な管理に取り組んでいるところだが、本事案は個人情報が記載された公文書を誤って廃棄してしまったものである。本事案のような文書の誤廃棄はどの部署でも起こる可能性があることから、公文書の重要性をあらためて認識し、日頃から適正な管理に努めるよう周知を行った。

(亀重委員) 資料2の5ページ、市長公室の行政監査<検討事項>について、個人情報の管理の曖昧さが感じられた。

(事務局) 当該事案については、契約時に定めた個人情報の取扱いに関する事務手続きが適切に行われていなかったものであり、監査の結果を受けて、全庁に事例の

共有と適正な事務執行を徹底するよう周知を行った。

(亀重委員) 同じく資料2の5ページ、＜注意事項＞の予定価格について2者以上から徴取しなかったこと等は担当職員と業者で適切な関係が保たれるよう、注視していく必要があると思った。

(事務局) 予定価格は本来2者以上から徴取する必要があるが、1者からしか徴取していなかったものである。本事案についても他部署で発生する可能性があることから、同様の事案が発生しないよう全庁に共有するとともに、内部統制の運用等を通じて適正な事務執行に努めていく。

(亀重委員) 資料2の8ページ、8の外部相談窓口の利用件数について、周知は徐々に進んでいると思われるが、令和4年度で減少した原因はあるか。

(事務局) 令和4年度については3月分が未集計だが、令和3年度と同程度の件数になる見込みである。引き続き外部相談窓口等の積極的な周知に努め、職員が相談しやすい環境づくりに取り組んでいく。

### 3 令和5年度コンプライアンスの推進に係る取組について

資料3-1「令和5年度コンプライアンスの推進に関する取組等について」、資料3-2「令和5年度コンプライアンスの推進に係る取組について(案)」について意見をいただいた。

(松井委員) 事務処理ミス、不祥事、ハラスメントの具体例を提示するなど、自らの行為を認識しやすい環境を整えていくことが今後も望まれる。

(事務局) これまで発生した事案について、全庁に共有し、同様事案の発生を未然に防止することが重要であることから、事案の共有方法、データベース化について検討してまいりたいと考えている。

(亀重委員) 令和5年度の取組について、特に目新しいものはなく、逆に言えば、同じように取組を続けていくしかないのかなとも思う。個人情報の管理等について、相模原市としてどう取り組んでいくのか気になる。

(事務局) 個人情報の管理については、個人情報保護法の改正が令和5年4月に施行され、より一層適切な取扱いが求められることになる。本市においても引き続き適切な取扱いに努めるとともに、個人情報を取扱う事務においては職員一人ひとりが緊張感をもって業務を行うよう周知していきたいと考えている。

### 4 その他

その他、今年度のコンプライアンス推進委員会全体に関して意見を頂いた。

(松井委員) 今年度の審議では、内部統制調整会議、内部統制幹事会で従前用いられてき

た「重大な不備」に対する定義に関して、本委員会の認識から疑義が示された。内部統制運用により、運用上での課題を明確化し、改善を進めることが期待される。

(事務局) ご指摘頂いた「重大な不備」の定義について、令和5年度に見直しを予定しており、コンプライアンス推進委員会においてもご審議いただく予定である。

(亀重委員) 今後、コンプライアンス推進に関する取組について、他の自治体の取組の中で特色があり成果があがったこと等の情報があるといいと思うが、既にそういった情報はあるのか。

(事務局) 事務局としても、他政令市等におけるコンプライアンス推進の取組等の好事例の把握に努め、コンプライアンス推進委員会の中で適宜情報提供できればと考えている。

以 上

令和4年度 第5回 コンプライアンス推進委員会委員出欠席名簿  
(令和5年3月22日～令和5年3月28日書面開催)

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	松井 望	東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科教授	委員長	出席
2	白澤 章子	弁護士	委員長代理	出席
3	亀重 恵美子	税理士		出席